

第 6 回

# IRグッドビジュアル賞 受賞事例



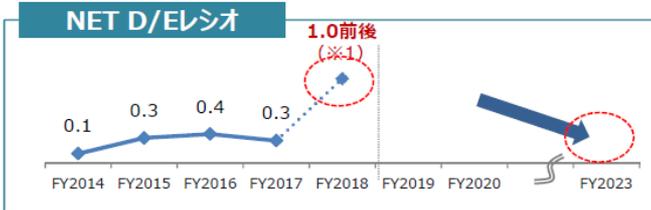
(掲載は証券コード順)

2019年4月  
IRグッドビジュアル賞 実行委員会



Blommer買収による財務構造の変化と中計財務戦略への影響 1/2  
財務規律を重視した取組みの強化

財務構造の変化



方針

健全性堅持に注力

① 資金調達

- ・格付は強く意識
- ・2019年度 資本性を50%認める劣後債を発行予定

② 拡大する金融リスクへの対応

- ・会計・財務基準の統一および基幹システムの統合を急ぐ

③ CFの創出

- ・Blommer収益力向上
- ・既存事業の拡大・成長
- ・不採算事業の売却 等

<審査員コメントより>

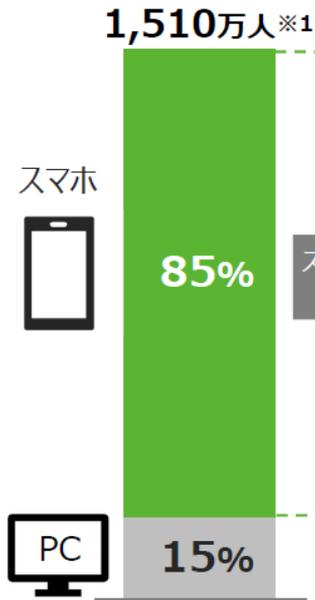
- 財務の規律をわかりやすく示している。下の二つのグラフの将来予想も良い。数字は入れてほしいが。
- 財務構造の変化と方針がセットになっているのが良いですね。「方針」の下地の色は無い方が良いと思いました。
- B/Sをこのような形で二期比較する例はあまりないがわかりやすい。ただ、順番は、B/Sの変化を受けての「方針」であり、その結果のD/Eレシオ、のれん純資産比率の既存レベルへの回帰という流れと思うので、そういうレイアウトにするとさらにわかりやすくなるのでは。
- 財務構造の悪化と改善方針をシンプルにわかりやすくまとめている。重要指標のグラフも良い。のれん額の絶対値は目安金額でもあった方が親切。
- B/Sの図示が秀逸。構造変化がひと目でわかり、議論がしやすくなる。5年後に目指す方向性を2つの指標で示している点も好感。



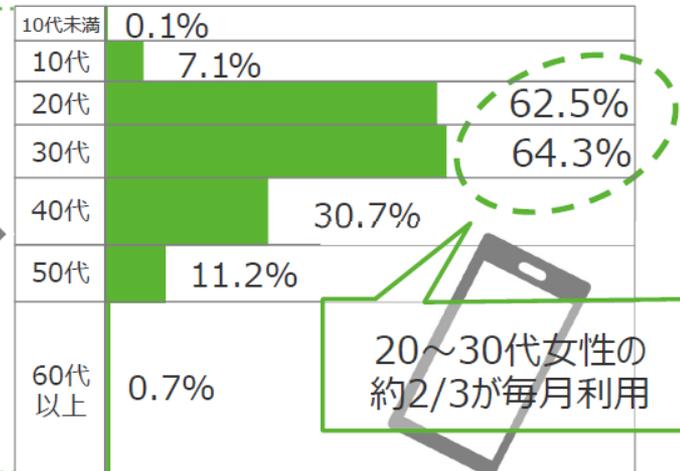
## @cosmeの圧倒的な女性利用率

- @cosmeの月間ユニークユーザー1,560万人（2018年6月末時点）
- 20代・30代の女性に対して圧倒的なリーチを持つ

月間ユニークユーザーの構成



@cosmeのスマホユーザーの世代別女性人口シェア ※2



出所：総務省人口統計（2018年1月確定値）  
2018年6月末時点のPC・スマホ・FPのUU数と会員分布より計算

※1 女性ユーザーのみ。会員数の分布より男性ユーザーを推計し、除外した数値  
※2 各世代の高さは、各世代の人口ボリュームを表しています

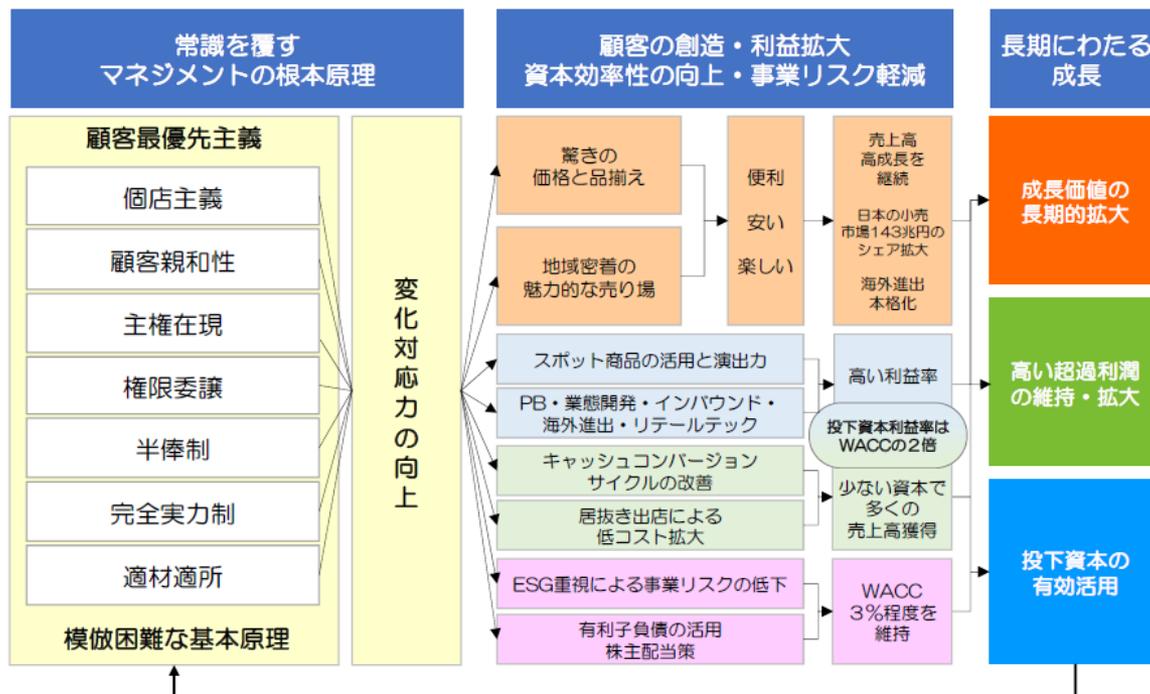
### <審査員コメントより>

- スライドで言っていることは口頭でも伝わるようなことでも、こうしてビジュアルに見せられるとシンプルながらパワフルなメッセージとなる。
- シンプルなデザインが好印象。シェアを伝えるのも良い。さらに他の媒体やシンボリックなものと比較するとより圧倒的だということが伝わる。
- 右の吹き出しの内容（20代～30代女性のほぼ2/3が毎月利用している）がわかりやすいので、これをタイトルに使った方がインパクトがある。今のタイトルはちょっと弱い。
- ユーザー分析結果の面白い見せ方。世代別ボリュームをグラフの高さで表示したのは上手。余白を充分にとり、緑の差し色の使い方も良い。
- シンプルだがひと目でストレートに重要な内容が伝わる。



# ユニークなビジネスモデルと長期的展望

ドン・ホスピック HLDGS.



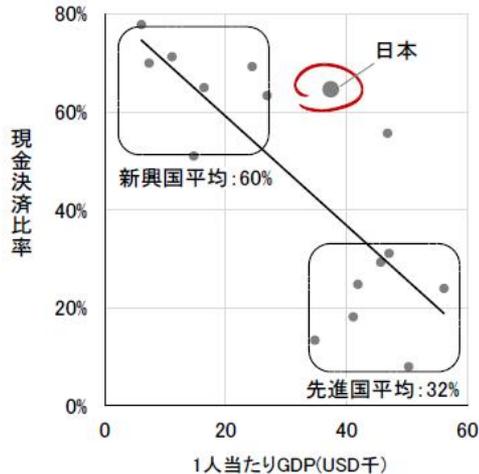
<審査員コメントより>

- チャレンジングで素晴らしい。WACCの開示なども良い。資本コストに言及している作品は少ない。
- 分かりやすいです。色使いや細かなデザインでは改善の余地があるが、内容・構成でインパクトがあり、それらを超えている。
- 数多くの要素をうまくまとめて1枚に仕立てている。タイトルは「ユニークなビジネスモデルが長期安定成長の基礎」とか工夫できるのでは？
- 自社のビジネスモデルの特徴、そこから長期展望に至る分析と豊富な内容を見やすく整理している。最上段は無地にし、文字はイタリックにしない方が読みやすく、インパクトも増す。
- 強みが価値を生み出し、それによって強みが増幅されるという戦略ストーリーがイキイキと伝わってくる。営業だけでなく資本効率についても言及している点も高評価。



## キャッシュレス

### 日本の現金決済の現状\*



### 現金決済の社会コスト

金融界	<ul style="list-style-type: none"> <li>ATM網運営費</li> <li>現金管理費</li> </ul>	2兆円
小売流通業界	<ul style="list-style-type: none"> <li>現金取扱人件費</li> </ul>	6兆円

\* EUROMONITOR、EIU、「平成26年商業統計」「平成27年民間給与実態統計」「平成26年経済センサス」「平成27年民間給与実態統計」を元に試算

### みずほの取組み

個人

#### 非接触決済



- ・ 邦銀初の銀行口座と連動するスマホ上のICカード
- ・ 18年3月より提供開始
- ・ 累計ダウンロード数40万超

#### みずほWallet



#### QRコード決済 銀行系デジタルコイン



- ・ 2件の実証実験を実施中 (18/12終了見込み)
- 1. 福島県(富岡町ほか) 東邦銀行と連携
- 2. 福岡県(北九州市) 北九州銀行、西日本シティ銀行、福岡銀行と連携

#### QRコード決済の実証実験



法人

#### SME向け デビットカード



- ・ メガ初のSME向けデビットカード
- ・ 18年1月より提供開始
- ・ 累計導入企業1万社

#### みずほビジネスデビット



### <審査員コメントより>

- 数字を交えて説明しているのが良い。テーマも良い。連続受賞だが担当者は変わっている。この賞は会社のブランド力ではなく個人の頑張りにもフォーカスしている。
- とても分かりやすい資料ですね。シンプルですが、写真を入れることでバランスもとれていて素晴らしいと感じました。他国との比較のマッピングも効いています。
- キャッシュレス化に取り組む背景について理解できる。取組み内容についても整理されているが、それぞれの特長の説明があるとさらに良い。
- ビジュアル化しづらい旬な話題を本年もうまく処理。現状と自行を分けて、取組み内容も上手に区分。具体例や数値データ、写真の入れ方も良い。
- 左上の表が素晴らしい。他(の国)と比較し、数字も間引き適度に簡素化しておりひと目でわかる。



マネジメントによる現状認識 2/2



<p><b>日本</b></p> <p>18/3EBITDA* 144億円</p> <p>日本株取引ツール「トレードステーション」 経由の株式売買代金が増加</p>	<p><b>米国</b></p> <p>18/3EBITDA* 29億円</p> <p>1Q末の稼働口座数、預かり資産は 過去最高。金利上昇で資金運用収 支の増加による利益増</p>	<p><b>香港</b></p> <p>18/3EBITDA* 1億円</p> <p>マネックスBoom証券（香港）</p>	<p><b>クリプト アセット事業</b></p> <p>「未来の金融」の実現 新たな時代の金融コンゴロマリットの中心 →詳細はP42</p>	<p><b>投資事業</b></p> <p>イノベーションの追求 フィンテック分野に限らず、成長ポテン シャルのあるイノベティブなビジネスを幅 広く創出</p>	<p><b>アジア・ パシフィック</b></p> <p>グローバルな事業拡大 中国本土のJV、豪州のマネックスオースト リアとグローバルに事業地域を拡大</p>	<p><b>2018年3月期</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>EBITDA* 174億円</li> <li>期末時点の時価総額 (3/30) 933億円</li> </ul> <p><b>連結</b></p> <p>【参考】時価総額 (6/29) 1,726億円</p>
--	---	--	---	--	---	--

同業他社	2018年3月期 EBITDA*	時価総額 (3/30)	【参考】時価総額 (6/29)
カブドットコム証券	98億円	1,239億円	1,216億円
松井証券	201億円	2,499億円	2,745億円

\*2018年3月期 EBITDA = 営業利益相当額+減価償却費

時価総額はマネックス証券調べ

<審査員コメントより>

- 企業価値を語っている。競合比較、数字が入っているのが良い。
- とてもスッキリしていて、良いデザインです。同業他社と比較できるのがとても良いです。
- 現状の収益状況を地域ごとに示し、同業他社との比較を示すことで経営陣が現状の評価に満足していないことが理解できる。
- 伝えたい内容は興味深いので、自社と同業他社のEBITDAや時価総額は並列に表示して比較しやすくしたほうがいいのではないかと感じました。
- 同業他社の数値を掲載している点が斬新で挑戦的。読者に分析作業を任せるのではなく、先んじて他社との比較感を提示することで対話が活発化するものと感じ、高評価。



## 福岡リート投資法人の特徴

「地域特化型REIT」 = 投資対象エリア（福岡・九州）の成長の取り組み→分配金を維持・向上

### 「福岡・九州の強み」

- 福岡市の人口増加率、増加数ともに政令指定都市中No.1(注1)
- 訪日外国人数の増加

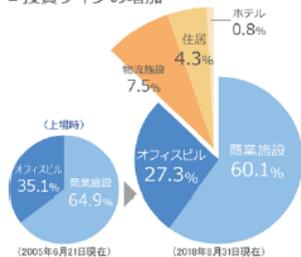


### 「地域特化型REIT」

- 福岡・九州という成長余力のある地域に特化
- 地元財界を中心とした強固なスポンサー体制

### 保有物件の多様化

- 投資タイプの増加



### 質の高い運用と持続可能性

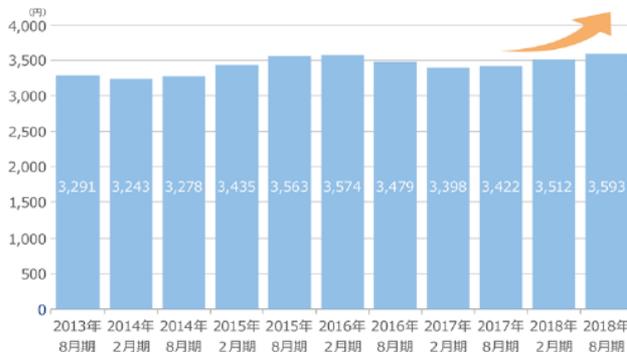
- J-REIT平均に比べ高い物件稼働率



- ESGの評価



### 分配金の推移(注5)



### 安定的な財務基礎

- J-REIT平均に比べ低い有利子負債比率



### 高い格付け(注4)



効果的な資産運用を通じた  
安定的な分配金を維持・向上

(注1)総務省統計局「国勢調査」の2010年と2015年のデータに基づいています。  
 (注2)一般社団法人不動産証券化協会の「APIデータブック(更新日:2019年1月30日)」のデータに基づき、株式会社福岡リアルティにて作成しています。J-REIT平均の数値は速報値です。  
 (注3)一般社団法人不動産証券化協会の「AREE マンスリーレポート(2018年9月)」のデータに基づき、株式会社福岡リアルティにて作成しています。  
 (注4)JCR株式会社日本総合研究所より定期発行格付けを取得しています。R&I株式会社格付投資情報センターより発行格付けを取得しています。  
 (注5)2014年2月1日付の最終発表日より、1回につき5日間の割合で本投資法人の投資口の分割が行っています。2008年8月期以降2014年2月期までの1回あたり分配金については、本分割前発表の数値としています。

### <審査員コメントより>

- 既に完成形に近い。前回受賞のものと同じテーマのスライドだが、大きく進化している。新しい要素を加えうまく処理している。
- バランスがとれた綺麗なデザイン。J-REITと比較しており説得力がある。福岡特化の理由も数値や比較で説得してくれるとよりパワフル。
- 当REITの特徴及び他のJ-REITと比較した場合の強みがうまく1枚のスライドにまとめられていると思う。それだけに、最後のまとめではなくトビラとして使って、この後で個々の特徴の説明に入るという使い方をしたほうが理解しやすいだろう。
- 一昨年・昨年のスライドが一段と進化。内容は多いものの、文字の大きさのメリハリがついているため極めて理解しやすい。グラフの活用、文字情報は過不足なく、重要度によるサイズ調整や、色使いも上手。完成度が高い。
- 2年前に受賞し毎年同じスライドを提出しているが、それが進化していることに好印象。